

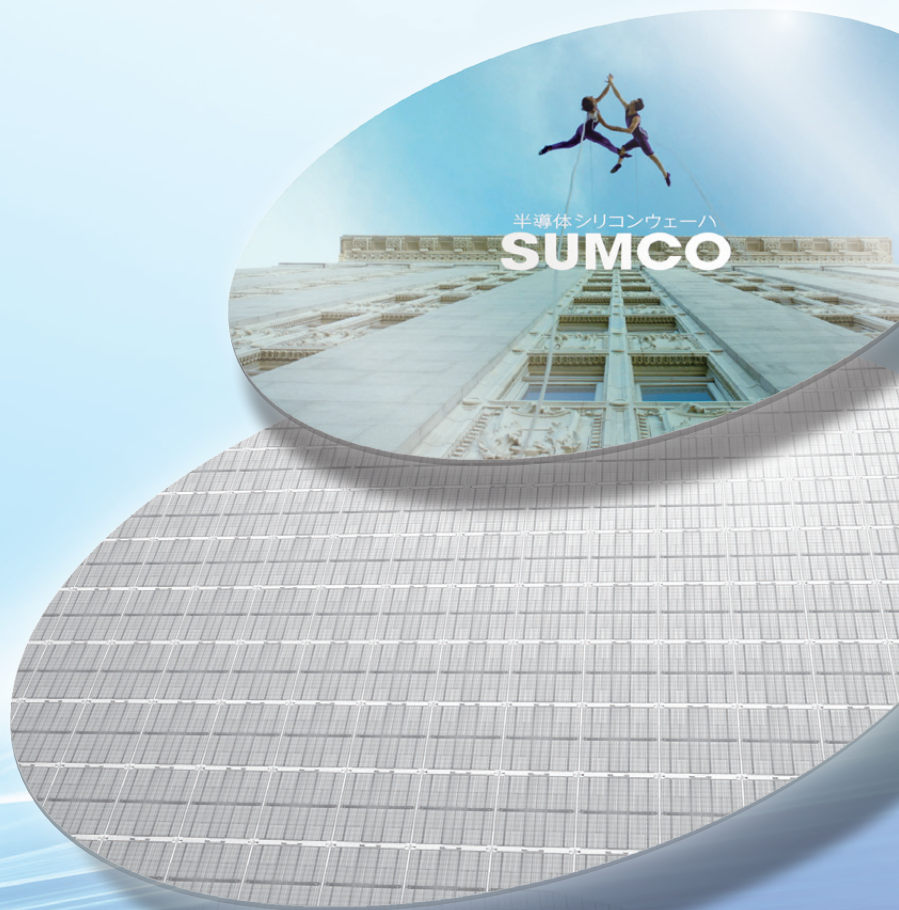
SUMCO株主通信

第19期 期末

2017年1月1日～2017年12月31日

INDEX

- 01 ごあいさつ
- 02 連結業績ハイライト
- 03 特集:300mmシリコンウェーハ
需要と技術動向
- 05 市場環境と業績見通し
- 06 会社情報・株式情報・株主メモ





ごあいさつ



代表取締役 会長兼CEO 橋本 眞幸
代表取締役 社長兼COO 瀧井 道治

株主の皆様には日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、スマートフォンに加えデータセンター、自動運転、IoT、更にはAI等の旺盛な半導体需要に牽引され、シリコンウェーハ市場は通年、強い需要が継続いたしました。

更に300mmシリコンウェーハの需給ひっ迫に加え、200mm以下の小口径ウェーハにつきましても、春先以降需要が急激に増大し、300mm以上に深刻な供給不足が継続しております。

このような環境のもと、当社グループでは、「SUMCOビジョン」の方針に基づき、顧客の高精度化要求に対応した技術開発により製品の差別化を図り、顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、需給ひっ迫下での量的な要望に対処するための生産性の向上、適宜増産を可能とならしめる価格への適正化等の方針のもと、損益の改善に努めてまいりました。

半導体用シリコンウェーハ市場は、強い半導体需要のもと、当面は需給ひっ迫の状況が継続する見通しであります。このような市場環境のなか、当社グループは、一層の収益改善と安定化を図ってまいります。

2017年12月期の期末配当につきましては、当期における利益水準、将来の見通し、設備投資に係る資金需要および内部留保の状況等を総合的に勘案し、1株当たり18円、通期では28円と決定いたしましたのでご報告します。

今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 会長兼CEO 橋本 眞幸

株主の皆様には平素より当社へのご理解とご支援を戴き厚く御礼申し上げます。

2017年度の業績は、旺盛な半導体需要に牽引され、当社主力製品の300mmウェーハのみならず、200mm以下の小口径ウェーハも需給のひっ迫が継続したことにより、ウェーハ価格の適正化が進み、前年比で大幅な増収増益を達成いたしました。

当社は、今後もウェーハの需要を確実にとらえるとともに、先端技術開発や高精度化対応投資による技術力の更なる向上を図ります。また操業面においては、高品質、高生産性を維持しつつ歩留改善・原単位の低減等を推進し、より競争力を高め、一層の利益をあげるよう努力してまいります。

これらの施策を積み上げていくことで着実に収益をあげ、中期目標としております自己資本比率50%以上、グロスD/Eレシオ0.5倍以下の財務体質の早期達成を目指してまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

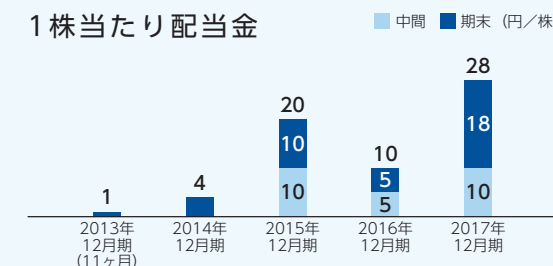
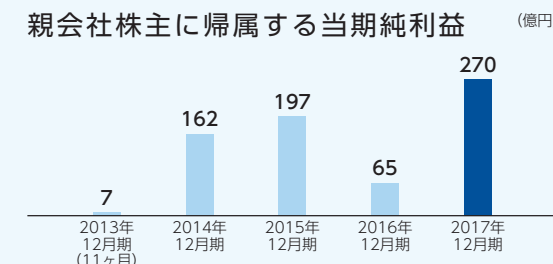
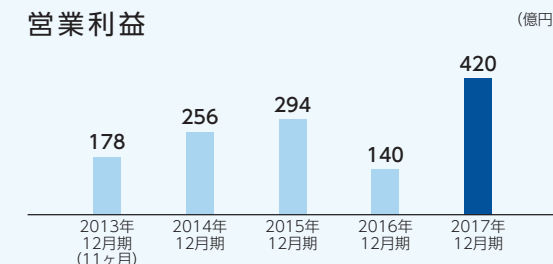
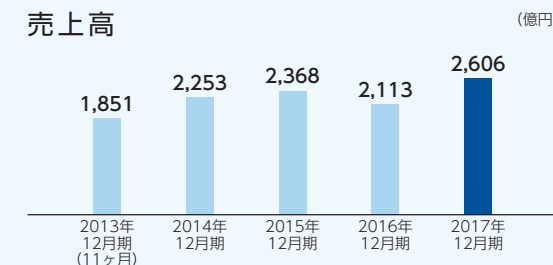
代表取締役 社長兼COO 瀧井 道治



第19期 期末 株主通信

連結業績 ハイライト

(注) 日本会計基準。グラフ中の数字は億円未満切り捨て。



1. 技術で世界一の会社
2. 景気下降局面でも赤字にならない会社

3. 社員が生き活きとした利益マインドの高い会社
4. 海外市場に強い会社

300mmシリコンウェーハ市場は、これまでスマートフォン(以下、スマホ)が牽引してきました。最近ではあらゆるものの情報がインターネットにつながる社会の実現(IoT)や、高精度な画像や動画等のデータ量の飛躍的な増加、また膨大な情報の解析を行うAIの発達により、クラウドコンピューティング・データセンター向けの需要が拡大しています。(図1)

ハイエンドスマホのメモリーも、情報量の拡大とともに、年々搭載容量が増加しています。(図2 ●)一方、半導体技術の微細化の進展により、スマホ1台に搭載されるシリコンチップの面積は、ほぼ600mm²と一定に推移しています。(図2 赤線)

2017年は、いままで牽引してきたスマホの生産台数成長の停滞が見られましたが、今後も底堅い需要が見込まれます。(図3)

300mmシリコンウェーハ市場は、スマホ向け需要による下支えと、急速に成長しているクラウドコンピューティング・データセンター向け市場により、今後も伸長していくものと考えています。

図1 300mmシリコンウェーハ市場

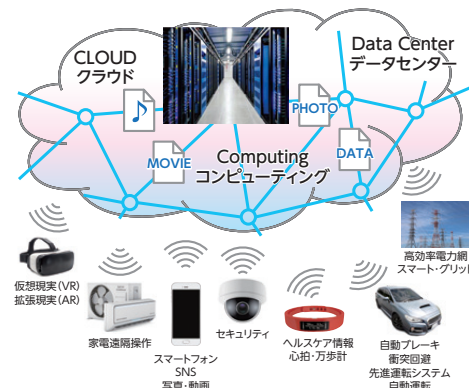
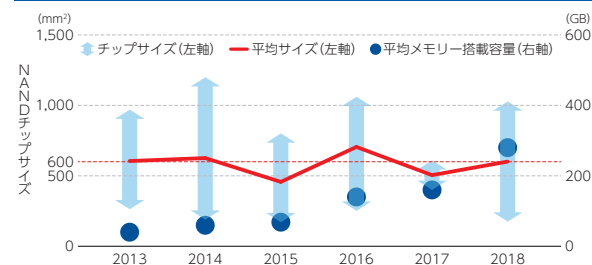
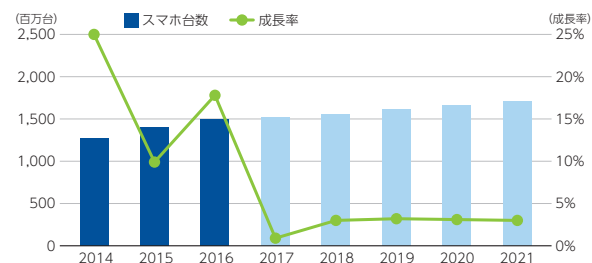


図2 ハイエンドスマートフォン向けNANDチップサイズの変遷



【出典：SUMCO推定】

図3 スマートフォンの生産台数推移



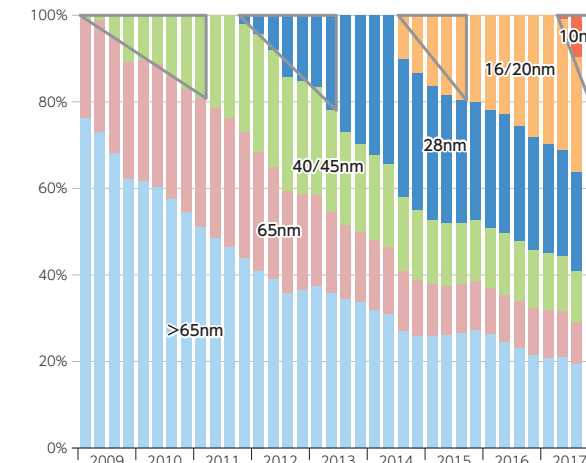
【出典：SUMCO推定】

最先端ロジックの半導体技術は、約2年半で世代交代しています。また、新しい世代になればなるほど立ち上がりの期間が短くなり、かつ急速に市場が拡大する傾向にあります。当社の技術優位性が強く発揮できる市場です。(図4)

300mmウェーハの需要については、いろいろな需要予測がありますが、当社は、300mmウェーハ需要と強い相関がある購買力平価GDP(PPP-GDP)に基づく需要予測より少し高め、年5-6%で成長すると予想しています。(図5)

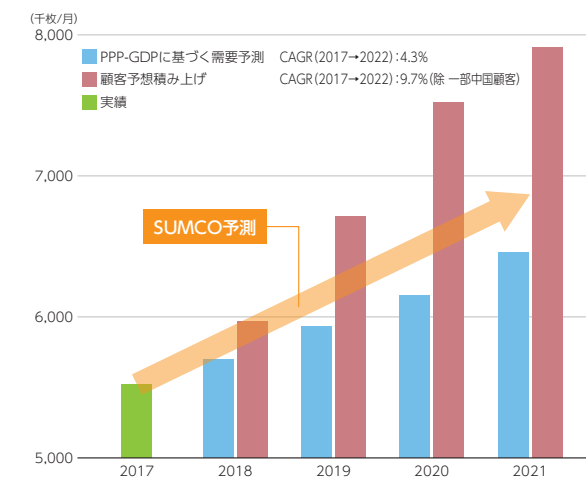
当社は、300mmウェーハ市場の成長に合わせ、先端品需要を適宜見極めながら、当社の技術的優位を発揮できる最先端ウェーハ能力を逐次増強する方針でおります。

図4 ロジックのテクノロジー別構成比率の変遷



【出典：SUMCO推定】

図5 300mmウェーハ需要予測



【出典：SUMCO推定】



市場環境と業績見通し

2017年度
(1-12月)
市場環境

2017年度の半導体用シリコンウェーハ市場は、旺盛な半導体需要に支えられ、各口径ともに季節調整もなく、強い需要が継続しました。
300mmウェーハは、スマートフォンの高機能化や通信量の増加によるデータセンター向けが牽引しました。また、200mm以下の小口径ウェーハについても、自動車・産業・IoT向けが牽引し、春先以降は需給がひっ迫しました。

2017年度
(1-12月)
事業成績

このような環境のもと、当社グループでは、「SUMCOビジョン」の方針に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、需給ひっ迫状況下での生産性の向上、および価格適正化による損益の改善に努めてまいりました。
この結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高2,606億円、営業利益420億円、経常利益367億円、親会社株主に帰属する当期純利益270億円となりました。

今後の見通し
2018年度
1Q(1-3月)

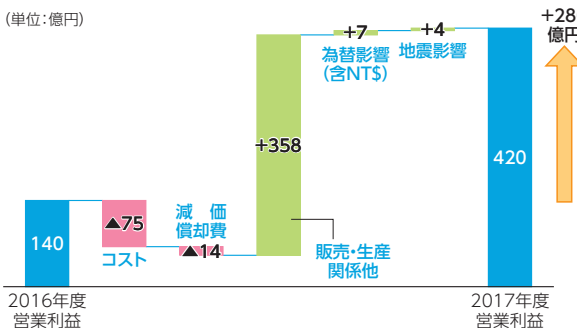
2018年度1Q(1-3月)の半導体用シリコンウェーハ市場は、強い半導体需要のもと、需給ひっ迫の状況が継続すると予想しています。
2018年度1Qの業績見通しについては、為替レートを110円／ドルとし、下表の通り、17年度4Q比で増収・増益を予想しています。

営業利益増減分析(2016年度→2017年度)

(単位:億円)

	2016年度	2017年度	増減
売上高	2,113	2,606	+493
営業利益	140	420	+280
為替 (円／ドル)	109.5	112.3	+2.8

(単位:億円)



2018年度1Q(1-3月期)連結業績予想

項 目	2017年度4Q 実績 (10-12月)	2018年度1Q 予想 (1-3月)	増減
売上高	(億円) 702	790	+88
営業利益	(億円) 133	190	+57
経常利益	(億円) 125	180	+55
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(億円) 104	120	+16
1株当たり四半期純利益	(円) 35.4	40.9	+5.5
為替レート	(円／ドル) 112.6	110.0	▲2.6

注)業績予想等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報、および、合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。



会社情報

会社概要(2017年12月末時点)

商号	株式会社SUMCO
本社	〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーパンスN館 Tel : 03-5444-0808 http://www.sumcosi.com/
設立年月日	1999年7月30日
資本金	138,718百万円
従業員数	連結7,711名 単体3,616名
IRお問い合わせ先	広報・IR室 : 03-5444-3915

取締役(2017年12月末時点)

代表取締役	会長兼CEO	橋 本 眞 幸
代表取締役	社長兼COO	瀧 井 道 治
代表取締役	副社長	遠 藤 晴 充
取締役	副社長	降 屋 久
取締役	専務執行役員	平 本 一 男
取締役	常務執行役員	井 上 文 夫
取締役(常勤監査等委員)		吉 川 博
取締役(常勤監査等委員)		片 濱 久
取締役(監査等委員)		田 中 等 *
取締役(監査等委員)		三 富 正 博 *
取締役(監査等委員)		太 田 信一郎 *
取締役(監査等委員)		中 西 孝 平 *

* 社外取締役(独立役員)

株式情報

株式情報(2017年12月末時点)

発行可能株式総数	804,000,000株
発行済株式総数	293,285,539株
総株主数	49,762名

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	Tel : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主メモ



第19期 期末 株主通信

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会議決権行使株主確定日 毎年12月31日
	配当金支払株主確定日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年 6月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページ(http://www.sumcosi.com/)に掲載いたします。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部(証券コード:3436)

ホームページのご案内

当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っております。決算関係資料やニュースリリースなどのほか、当社が製造するシリコンウェーハについての情報なども掲載しております。ぜひご利用ください。

SUMCOホームページ <http://www.sumcosi.com/>

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

- 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお手続きおよびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

■ 単元未満株式の買取請求について

単元(100株)未満株式の買取請求につきましては、株主様口座のある証券会社にお申し出ください。
(証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。)

For All Innovation

半導体の進化が世の中を変える

時代を変え、風景を変え、あなたと私のこれからを変える

次の100年、半導体でどう変わるだろうか

シリコンウェーハは半導体テクノロジーの根源

半導体の進化が未来を創る

SUMCO

株式会社SUMCO

〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

Tel:03-5444-0808

<http://www.sumcosi.com/>

見通しに関する注意事項

本資料に記載された予測・予想・見込み・その他の将来情報および将来推定は、現時点で当社が利用可能な情報および一定の前提または仮定（当社の主観的判断に基づくものを含みます。）に基づくものです。

実際の業績などは、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向、その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報および将来推定と大きく異なる可能性があります。



環境保護のために、
大豆インクを
使用しております。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。